

令和4年度事業計画書 <デイサービスセンターいこい・ほほえみ>

テーマ：非常災害（感染症・自然）の避難計画に基づき、安全・安心あるサービスの提供と
人材の確保に努める

～安心して働ける職場として利用者・職員双方への優しいケアの実現～

サブテーマ：利用者、家族から信頼され、地域から必要とされる施設づくり

1. 認知症があっても、安心して居心地よく過ごせる場の提供

- ①利用者一人一人の認知症の種類やその症状について、職員が理解を深め、その症状に合わせたケアを実践する。
- ②ケアの中で得られた細かな気付きをチームミーティングにより情報共有し、統一したケアに努める。
- ③職員間の共通認識として、必要に応じて長谷川式を実施し一人一人の認知機能状態の変化を把握する。

2. 利用者の安全、安心に繋がる活動

- ①自然災害、感染症に備え、BCP マニュアルを作成し訓練を実施することで、安全、安心に利用していただける環境作りを行う。
- ②防災管理委員会、感染対策委員会で得られた情報を職員間で共有し、必要があれば利用者や家族にも発信する。

3. 利用者増加に向けての対応策

- ①ケアマネに利用者の細かな情報や気付きを発信し、信頼関係を築けるよう、問題解決に向けて協力し合いながら迅速に対応していく。また、各居宅を訪問し、空き状況を随時報告するなど新規利用者獲得に努める。
- ②新型コロナウイルスの感染状況を察知し、いこい・ほほえみの活動を多くの方に知っていただけるよう「あい祭り」など地域交流の場に参加する。
- ③令和4年度の坂井市一次予防教室を受託し、地域住民の方との交流を深めることで広報活動に繋げる。